



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月6日

上場会社名 株式会社デジタルアドベンチャー 上場取引所 東
 コード番号 4772 URL <http://www.digiadv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 命学
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 大山 智子 TEL 03-6809-6118
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,505	97.4	△26	—	△24	—	△55	—
26年12月期第2四半期	762	△62.4	△135	—	△126	—	△93	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △55百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 △93百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△1.03	—
26年12月期第2四半期	△1.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	2,220	1,784	79.4	32.45
26年12月期	2,375	1,838	76.5	33.48

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 1,762百万円 26年12月期 1,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	12.2	50	127.3	40	8.1	30	△55.2	0.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	54,392,638株	26年12月期	54,392,638株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	79,676株	26年12月期	79,576株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	54,313,039株	26年12月期2Q	54,313,096株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和などによる株価の堅調な推移や、円安の追い風により企業収益は回復基調にあります。欧州金融不安や中国経済の成長鈍化など、依然として先行きが懸念される状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間においては、第1四半期連結累計期間に引き続き、所属アーティスト・俳優をはじめとしたファンミーティングやドラマイベントの開催、アルバムのリリース、ならびに前連結会計年度より進めております大型ドラマ版權の事業化などをなを行い、売上高は大きく伸ばしております。

一方、利益面においては、プロモーション費用や商品在庫の評価損計上など原価が嵩んだこともあり、販売費及び一般管理費を吸収できず営業損失となっております。また、持分法適用関連会社における新株予約権行使に伴い、当社持分比率が低下したため、特別損失として持分変動損失29百万円を計上しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億5百万円（前年同期比97.4%増）、営業損失26百万円（前年同期は営業損失1億35百万円）、経常損失24百万円（前年同期は経常損失1億26百万円）、四半期純損失55百万円（前年同期は四半期純損失93百万円）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(物販事業)

イベントでのグッズ販売等大型案件がなかったこと、また商品在庫の評価損計上など原価が嵩んだこと等により利益は減少しております。

この結果、売上高は2億8百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期は、セグメント損失7百万円）となっております。

(ライセンス&メディアコミュニケーション事業)

所属俳優イ・ヒョヌの「イ・ヒョヌ日本公式ファンクラブ創設記念イベント」、ドラマイベント「匂いを見る少女 ファンミーティング in Japan」などのイベントを開催しております。また、新人アーティスト発掘・育成事業第1弾である原宿発がけっぷちボーイズグループBEE SHUFFLEにおいては、4月から出演番組「マジ★しゃっふる!？」がHTTB北海道他で放送され、さらにヨーロッパ最大級の日本文化フェスティバル“Japan Expo”（開催地：フランス）でのライブ参加が決定するなど話題を提供してまいりました。

DATVでは、5月から関西一円をサービスエリアとする光ケーブルテレビサービス「eo 光テレビ」でのチャンネル提供が開始いたしております。大型ドラマとしては、4月にキム・ジェジュン（JYJ）主演最新作「SPYースパイー」、5月にジョセフ・チェン主演最新作・除隊後初作品の台湾ドラマ「わたしのスイート・スター」など、話題の韓流・華流の作品を続々放送し、新規加入促進を図ってまいりました。

この結果、売上高は12億87百万円（前年同期比126.0%増）、セグメント損失は4百万円（前年同期は、セグメント損失1億26百万円）となっております。

(その他事業)

その他事業のうち、デジタルコンテンツ配信において、前連結会計年度に業務委託料の改定があったため売上高は減少したものの、原価の見直しを図った結果、売上高は9百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期は、セグメント損失1百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、22億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金が5億39百万円減少、前渡金が1億14百万円増加、および流動資産のその他が2億85百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、4億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少しました。この主な要因は、買掛金が2億22百万円減少、および流動負債のその他が1億22百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、17億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金が55百万円減少、および新株予約権が1百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億39百万円減少し、2億31百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億13百万円の資金の減少（前年同期は4億13百万円の減少）となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純損失が53百万円、前渡金の増加が1億14百万円、仕入債務の減少が2億22百万円およびその他の流動資産の増加が2億83百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、73百万円の資金の増加（前年同期は30百万円の増加）となりました。

これは、主に貸付金の回収による収入が1億3百万円、敷金及び保証金の差入による支出15百万円および無形固定資産の取得による支出が11百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の資金の減少（前年同期は0百万円の減少）となりました。

これは、主にリース債務の返済による支出によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	770,708	231,288
売掛金	224,973	321,775
コンテンツ	1,354	1,114
商品	5,561	8,865
関係会社短期貸付金	100,000	100,000
前渡金	403,139	517,351
その他	76,144	361,986
貸倒引当金	△102	△267
流動資産合計	1,581,779	1,542,114
固定資産		
有形固定資産	13,406	13,138
無形固定資産	28,376	31,145
投資その他の資産		
投資有価証券	520,147	486,782
関係会社長期貸付金	200,000	100,000
その他	118,136	130,209
貸倒引当金	△86,077	△83,077
投資その他の資産合計	752,207	633,914
固定資産合計	793,990	678,198
資産合計	2,375,770	2,220,312
負債の部		
流動負債		
買掛金	370,049	147,151
その他の引当金	6,285	6,283
その他	156,830	279,154
流動負債合計	533,165	432,589
固定負債	3,616	3,143
負債合計	536,781	435,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△2,148,884	△2,204,782
自己株式	△32,416	△32,421
株主資本合計	1,818,191	1,762,288
新株予約権	20,798	22,291
純資産合計	1,838,989	1,784,579
負債純資産合計	2,375,770	2,220,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	762,888	1,505,585
売上原価	635,463	1,239,597
売上総利益	127,425	265,988
販売費及び一般管理費		
給料	80,769	84,560
支払手数料	79,849	92,313
その他	102,614	115,945
販売費及び一般管理費合計	263,233	292,819
営業損失(△)	△135,807	△26,831
営業外収益		
受取利息	5,846	3,512
貸倒引当金戻入額	2,400	3,000
その他	850	110
営業外収益合計	9,097	6,622
営業外費用		
持分法による投資損失	—	4,177
その他	133	147
営業外費用合計	133	4,324
経常損失(△)	△126,843	△24,533
特別利益		
関係会社株式売却益	7,382	—
新株予約権戻入益	40,113	—
特別利益合計	47,496	—
特別損失		
減損損失	—	66
持分変動損失	10,275	29,104
その他	804	79
特別損失合計	11,080	29,250
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,427	△53,783
法人税、住民税及び事業税	3,016	2,114
法人税等合計	3,016	2,114
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△93,444	△55,897
四半期純損失(△)	△93,444	△55,897

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△93,444	△55,897
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△93,444	△55,897
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,444	△55,897

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△90,427	△53,783
減価償却費	8,790	7,907
のれん償却額	5,358	—
新株予約権戻入益	△40,113	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,432	△2,834
受取利息及び受取配当金	△5,846	△3,512
支払利息	16	126
関係会社株式売却損益（△は益）	△7,382	—
為替差損益（△は益）	182	△1,197
持分法による投資損益（△は益）	—	4,177
持分変動損益（△は益）	10,275	29,104
売上債権の増減額（△は増加）	31,105	△96,802
たな卸資産の増減額（△は増加）	△14,720	△3,064
前渡金の増減額（△は増加）	△212,053	△114,211
その他の流動資産の増減額（△は増加）	25,339	△283,940
仕入債務の増減額（△は減少）	△82,940	△222,898
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△47,882	124,347
その他	3,301	3,817
小計	△419,429	△612,765
利息及び配当金の受取額	10,854	1,611
利息の支払額	△16	△126
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△4,640	△2,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	△413,231	△613,781
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	2,400	103,000
有形固定資産の取得による支出	△529	△1,424
無形固定資産の取得による支出	△2,860	△11,272
敷金及び保証金の差入による支出	△2,520	△15,662
敷金及び保証金の回収による収入	24,520	—
関係会社株式の売却による収入	11,138	—
その他	△1,747	△1,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	30,401	73,614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△638	△445
自己株式の取得による支出	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△642	△450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△182	1,197
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△383,655	△539,420
現金及び現金同等物の期首残高	1,316,693	770,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	933,037	231,288

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	181,933	569,943	751,877	11,011	762,888
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	181,933	569,943	751,877	11,011	762,888
セグメント利益又は損失(△)	△7,444	△126,757	△134,201	△1,606	△135,807

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△134,201
「その他」の区分の損失(△)	△1,606
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△135,807

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	208,274	1,287,934	1,496,209	9,375	1,505,585
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	208,274	1,287,934	1,496,209	9,375	1,505,585
セグメント利益又は損失（△）	△24,251	△4,442	△28,694	1,862	△26,831

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△28,694
「その他」の区分の利益	1,862
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△26,831

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。